

研究課題名	院内急変に関するRRS callの検証
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 鈴木 秀鷹
研究期間	(西暦) 2017年12月 ～ 2020年10月
研究の意義・目的	Rapid response system(以下、RRS)とは、急激な状態変化によって必要になった医療的ケアが行われていない患者に介入を行うシステムである。当院では以前より院内HotlineというRRSが行われていたが院内急変(予期せぬ心停止や死亡を含む)に関して、更なる医療の質の改善を図る目的で2015年からRRS Callが導入されている。これらがどのように効果を発揮しているのか、また今後の改善点を検証することを目的とする。これを行うことで、より良い医療の提供につながる可能性がある。
研究の方法 (対象期間含む)	後ろ向きの観察研究である。対象期間(2013年1月から2016年12月まで)に当院入院した18歳以上の患者で、RRS出動がなされた症例に関して、入院時データやRRS起動前のバイタルサインや看護記録、その後の転帰などを診療録から情報を得る。また、全入院患者数、年齢、性別比や死亡者数、平均在院日数などをRRS効果を測定するアウトカムとして診療録から情報を得る。これらをロジスティック回帰分析によって解析する。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む)  ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目  ③利用する者の範囲  ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①プライバシーの保護に関しては、十分に配慮し、データ取り扱いは、ログインとファイル閲覧時にパスワードのかかる院内PC(以下、特定のPCと記載する)のみで行う。ただし、各患者には番号を割り当て、記載する。患者番号と患者名を対応させたデコード表を作成し、特定のPCに保存する。結果公表に際しては、研究の性質上、データのみを記述するため、氏名などの個人情報が明らかになることはない。②診療録、バイタルサインや採血データなど③当院救命救急科 鈴木 秀鷹④当院救命救急科 鈴木 秀鷹
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 鈴木 秀鷹  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525